

数学的帰納法で不等式の証明

n が 2 以上の自然数であるとき、
不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つことを
数学的帰納法で証明せよ。

今回の学習目標

数学的帰納法を使った不等式の証明

- $n = 1$ から始まるとは限らない
- $n = k$ のときの、不等式の利用のしかた

例 1

n が 2 以上の自然数であるとき、不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。



例 1

n が 2 以上の自然数であるとき、不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

例 1

n が 2 以上の自然数であるとき、不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、



例 1

n が 2 以上の自然数であるとき、不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

$$P(2) = 3^2 - 4 - 1 = 4$$



例 1

n が 2 以上の自然数であるとき、不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

$$P(2) = 3^2 - 4 - 1 = 4$$

$P(2) > 0$ であるので、不等式は成り立つ。



証明

$P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0 \text{ である。}$$

$$3^k > 2k + 1$$

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0 \text{ である。}$$

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$P(k + 1) = 3^{k+1} - 2(k + 1) - 1$$

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \\ &> 3(2k+1) - 2(k+1) - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \\ &> 3(2k+1) - 2(k+1) - 1 \\ &= 6k + 3 - 2k - 2 - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0 \text{ である。}$$

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \\ &> 3(2k+1) - 2(k+1) - 1 \\ &= 6k + 3 - 2k - 2 - 1 = 4k \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \\ &> 3(2k+1) - 2(k+1) - 1 \\ &= 6k + 3 - 2k - 2 - 1 = 4k \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k+1) > 0$ となり、

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \\ &> 3(2k+1) - 2(k+1) - 1 \\ &= 6k + 3 - 2k - 2 - 1 = 4k \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k+1) > 0$ となり、
 $n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。

証明 $P(n) = 3^n - 2n - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = 3^k - 2k - 1 > 0$ である。

$$3^k > 2k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 3^{k+1} - 2(k+1) - 1 \\ &= 3 \cdot 3^k - 2(k+1) - 1 \\ &> 3(2k+1) - 2(k+1) - 1 \\ &= 6k + 3 - 2k - 2 - 1 = 4k \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k+1) > 0$ となり、
 $n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。

[1] [2] より、2 以上の自然数で $P(n) > 0$ であるので、
不等式 $3^n > 2n + 1$ が成り立つ。

ビデオを止めて問題を解いてみよう

問 1

n が 4 以上の自然数であるとき、
不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つことを数学的
帰納法で証明せよ。

問 1

n が 4 以上の自然数であるとき、不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。



問 1

n が 4 以上の自然数であるとき、不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。



問 1

n が 4 以上の自然数であるとき、不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[1] $n = 4$ のとき、

問 1 n が 4 以上の自然数であるとき、不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[1] $n = 4$ のとき、

$$P(4) = 2^4 - 12 - 1 = 3$$

問 1 n が 4 以上の自然数であるとき、不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[1] $n = 4$ のとき、

$$P(4) = 2^4 - 12 - 1 = 3$$

$P(4) > 0$ であるので、不等式は成り立つ。

証明

$P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \quad (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、
$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$P(k + 1) = 2^{k+1} - 3(k + 1) - 1$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $3k \geq 12$ より、

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $3k \geq 12$ より、

$$3k - 2 \geq 12 - 2$$

証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $3k \geq 12$ より、

$$3k - 2 \geq 12 - 2 = 10 > 0$$



証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $3k \geq 12$ より、

$$3k - 2 \geq 12 - 2 = 10 > 0$$

$P(k+1) > 0$ となり、



証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $3k \geq 12$ より、

$$3k - 2 \geq 12 - 2 = 10 > 0$$

$P(k+1) > 0$ となり、 $n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。



証明 $P(n) = 2^n - 3n - 1 > 0 \quad (n \geq 4)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 4)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = 2^k - 3k - 1 > 0 \qquad 2^k > 3k + 1$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= 2^{k+1} - 3(k+1) - 1 \\ &= 2 \cdot 2^k - 3(k+1) - 1 \\ &> 2(3k+1) - 3(k+1) - 1 \\ &= 6k + 2 - 3k - 3 - 1 = 3k - 2 \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $3k \geq 12$ より、

$$3k - 2 \geq 12 - 2 = 10 > 0$$

$P(k+1) > 0$ となり、 $n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。

[1] [2] より、4以上の自然数で $P(n) > 0$ であるので、
不等式 $2^n > 3n + 1$ が成り立つ。

例 2

n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。



例 2

n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。

証明

$P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。



例 2

n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。

証明

$P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

例 2

n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。

証明

$P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

$$P(2) = (1 - h)^2 + 2h - 1$$



例 2 n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

$$\begin{aligned} P(2) &= (1 - h)^2 + 2h - 1 \\ &= 1 - 2h + h^2 + 2h - 1 \end{aligned}$$

例 2

n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。

証明

$P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

$$\begin{aligned} P(2) &= (1 - h)^2 + 2h - 1 \\ &= 1 - 2h + h^2 + 2h - 1 \\ &= h^2 > 0 \end{aligned}$$



例 2 n は 2 以上の自然数で、 $0 < h < 1$ とするとき、不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ の成立を証明せよ。

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[1] $n = 2$ のとき、

$$\begin{aligned} P(2) &= (1 - h)^2 + 2h - 1 \\ &= 1 - 2h + h^2 + 2h - 1 \\ &= h^2 > 0 \end{aligned}$$

$P(2) > 0$ であるので、不等式は成り立つ。

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、
$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$P(k + 1) = (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1$$

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \\ &> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1 \end{aligned}$$

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \\ &> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1 \\ &= 1 - kh - h + kh^2 + kh + h - 1 \end{aligned}$$



証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$P(k + 1) = (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1$$

$$= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1$$

$$> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1$$

$$= 1 - kh - h + kh^2 + kh + h - 1 = kh^2$$



証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \\ &> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1 \\ &= 1 - kh - h + kh^2 + kh + h - 1 = kh^2 \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k + 1) > 0$ となり、

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \\ &> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1 \\ &= 1 - kh - h + kh^2 + kh + h - 1 = kh^2 \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k + 1) > 0$ となり、

$n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \\ &> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1 \\ &= 1 - kh - h + kh^2 + kh + h - 1 = kh^2 \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k + 1) > 0$ となり、

$n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。

[1] [2] より、2以上の自然数で $P(n) > 0$ であるので、

証明 $P(n) = (1 - h)^n + nh - 1 > 0 \quad (n \geq 2)$ を証明する。

[2] $n = k \ (\geq 2)$ のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = (1 - h)^k + kh - 1 > 0$$

$$(1 - h)^k > 1 - kh$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k + 1) &= (1 - h)^{k+1} + (k + 1)h - 1 \\ &= (1 - h) \cdot (1 - h)^k + (k + 1)h - 1 \\ &> (1 - h) \cdot (1 - kh) + (k + 1)h - 1 \\ &= 1 - kh - h + kh^2 + kh + h - 1 = kh^2 \end{aligned}$$

$k \geq 2$ であるので、 $P(k + 1) > 0$ となり、

$n = k + 1$ のときも不等式は成り立つ。

[1] [2] より、2以上の自然数で $P(n) > 0$ であるので、
不等式 $(1 - h)^n > 1 - nh$ が成り立つ。

ビデオを止めて問題を解いてみよう

問 2

n を 4 以上の自然数とするとき、
不等式 $n! > 2^n$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

問 2

n を 4 以上の自然数とすると、不等式 $n! > 2^n$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。



問 2

n を 4 以上の自然数とすると、不等式 $n! > 2^n$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

問 2

n を 4 以上の自然数とすると、不等式 $n! > 2^n$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明

$P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[1] $n = 4$ のとき、

問 2 n を 4 以上の自然数とすると、不等式 $n! > 2^n$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[1] $n = 4$ のとき、

$$P(4) = 4! - 2^4 = 24 - 16 = 8$$

問 2 n を 4 以上の自然数とすると、不等式 $n! > 2^n$ が成り立つことを数学的帰納法で証明せよ。

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[1] $n = 4$ のとき、

$$P(4) = 4! - 2^4 = 24 - 16 = 8$$

$P(4) > 0$ であるので、不等式は成り立つ。

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = k! - 2^k > 0$ である。

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、
 $P(k) = k! - 2^k > 0$ である。 $k! > 2^k$

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$P(k + 1) = (k + 1)! - 2^{k+1}$$

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \end{aligned}$$

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \end{aligned}$$

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &= (k+1)2^k - 2 \cdot 2^k \end{aligned}$$

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &= (k+1)2^k - 2 \cdot 2^k \\ &= (k-1)2^k \end{aligned}$$

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &= (k+1)2^k - 2 \cdot 2^k \\ &= (k-1)2^k \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $k-1 > 4-1 = 3 > 0$ より、

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &= (k+1)2^k - 2 \cdot 2^k \\ &= (k-1)2^k \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $k-1 > 4-1 = 3 > 0$ より、 $P(k+1) > 0$ となり、 $n = k+1$ のときも成り立つ。

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &= (k+1)2^k - 2 \cdot 2^k \\ &= (k-1)2^k \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $k-1 > 4-1 = 3 > 0$ より、 $P(k+1) > 0$ となり、 $n = k+1$ のときも成り立つ。

[1] [2] より、4以上の自然数で $P(n) > 0$ であるので、

証明 $P(n) = n! - 2^n > 0$ を数学的帰納法で証明する。

[2] $n = k$ (≥ 4) のとき、成り立つと仮定すると、

$$P(k) = k! - 2^k > 0 \text{ である。} \quad k! > 2^k$$

$n = k + 1$ のとき、

$$\begin{aligned} P(k+1) &= (k+1)! - 2^{k+1} \\ &= k! \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &> 2^k \cdot (k+1) - 2^{k+1} \\ &= (k+1)2^k - 2 \cdot 2^k \\ &= (k-1)2^k \end{aligned}$$

ここで、 $k \geq 4$ であるので、 $k-1 > 4-1 = 3 > 0$ より、 $P(k+1) > 0$ となり、 $n = k+1$ のときも成り立つ。

[1] [2] より、4以上の自然数で $P(n) > 0$ であるので、
不等式 $n! > 2^n$ が成り立つ。

今回の学習目標

数学的帰納法を使った不等式の証明

- $n = 1$ から始まるとは限らない
- $n = k$ のときの、不等式の利用のしかた